

# 加美町地域エネルギー通信

加美町地域エネルギー活用調査・企画事業

第2号

発行日:平成24年12月27日

編集者:循環社会研究所

安田容子(地域調査員)

発行者:協働のまちづくり推進課

## 地域調査に行ってきました

座談会のときに話題にのぼった場所について、地域委員さん(中新田地区:橋本さん・千葉さん、宮崎地区:渡邊さん・庄司さん、小野田地区:遠藤さん、一條さん)、町の協働のまちづくり推進課(三浦さん、尾形さん、青砥さん)と訪れました。

### 中新田地区 10月19日(金) 13:30~15:30 曇り時々雨

橋本さん、青砥さん、新妻先生、安田

中新田地区では、地下水(井戸)の利用と用水路について調べました。堰から流れる志田江川は用水路の上流だけに水量も多く、また、使っていた井戸も沢山あって、中新田地区は水の豊富な地区といえそうです。用水路の水は発電に、地下水は冷暖房の熱源として利用できる可能性があります。

#### 上川原の井戸

上川原の床屋さん(理容イタガキ・板垣光一さん)の井戸を拝見しました。もともとお店の表にあったのですが、掘り直して、今はお店の裏にあり、水の神様と慕われています。組合(上川原水道組合)があり、20軒が加入して、井戸の水を利用しています。洗い物やお風呂に使うそうです。



↑かつてはこの場所に井戸  
(今はお店の裏にあります)

三浦材木店の向かいにある井戸も組合があって、10軒ほどが加入しているそうです。三浦材木店には、とてもすてきな薪ストーブ(だるまストーブ)があり、ストーブの周りにお茶を置いたりすることの出来る、上板の付いた囲いがありました。

#### 岡町の井戸

岡町の鈴木清さんの家にはポンプでくみ上げている井戸がありました。尾形桂さんの家にも、50年前に掘った井戸がありました。また、岡町には簡易水道がありましたが、いまは水が涸れて使えなくなってしまい、不便になったそうです。

### 鳴瀬地区 10月28日(月)13:30~16:00 晴れ

橋本さん、尾形さん、新妻先生、安田

鳴瀬地区では、最初に交流センターを見学しました。小学校を改修した立派な施設で、薪ストーブ

ブや薪ボイラー、もみがらボイラーなど、地域エネルギーを利用出来る公共の場として使えるかも知れません。そのあとで、先日の座談会で、もみがらで蚕室を暖めていたという話のでた、畑中の千葉房一郎さんのお宅を訪問しました。あいにく、千葉さんの家は数年前に建て替えてしまっていて、蚕室や養蚕の道具はなくなっていました。桑畑があった場所は「桑原」として地名に残っていました。

## 簡易水道跡

四日市場の簡易水道のあった場所は、今では空き地になっており、一角に施工当時の碑が残されていました。近くで農作業をしていた福島久義さんに話を伺いました。福島さんの紹介で、簡易水道の管理をずっとしていた隣の工藤光夫さんから、当時の話を伺うことができました。この辺りでは、色麻の袋から下新田の井戸のある場所、平柳まで一直線に水脈が走っているそうです。

簡易水道は、下新田上、下新田下、四日市場、沖、宿あわせて440戸の飲み水を提供していました。井戸を掘るにあたって、深さ200メートルのところまで岩盤があつてなかなか進まず、朝から晩まで掘って7ヶ月かかってやっと岩盤を抜けて井戸が掘れたそうです。町の上水が通ったため、今は、井戸は埋められています。

最後に、鹿島神社の裏の志田江川の分岐点を調査しました。落差もあり水量も豊富で、水力発電などに使えるかもしれません。



左：簡易水道跡地 右：簡易水道跡の前を流れる志田江川を見学

## 宮崎地区 11月2日(金)10:00~15:30 雨のち曇り

渡邊さん、庄司さん、尾形さん、青砥さん、新妻先生、安田

集合場所は、渡邊さんのビオトープでした。磁石の鳥除けなど、独自の工夫の光る素敵なものでした。寒くて鉄魚を見ることができなくて残念でした。熊野神社近くの大銀杏や、町頭の杉の大木の跡も見ることができました。

## 高橋さんの水車

麓の高橋強さんの水車は、昭和14年(1939)に、強さんのお父さんの清さんにより造られたもので、とても素晴らしいものでした。戦後にはずい道掘って牛小屋の下に水を通すようにしました。上の小屋では水車の力を利用して縄をなったり、木を切ったりしていました。



高橋さんの水車と作業小屋

水車を見た後、高橋さんの水車の水の出所をさぐるために水門を捜しましたが、すっかり藪になっていて見つけることができませんでした。高橋さんは何も無いところから、家族と近所の人たち

だけで大きな水車を造り、沢から水を引き、さらにずい道も掘ったのはとてもすごいことです。

次に、坂下の今野忠弥さんの家の側にあるタービン跡を見ました。座談会の時に、昔はここで精米などをしていた大きなタービンがあったことを伺いましたが、今では整備された水路のみで、タービンは無くなっていました。

上町の川村勉さんには、椎茸の栽培について伺いました。ほだ木を採取する賀美石地区の林について、放射能の問題など、加美町の林地と椎茸栽培の現状について伺いました。あとでその林に行きましたが、活用されているとてもきれいな林でした。

## 伊藤牧場

伊藤牧場は、大きな牧場でした。牛舎の写真撮ると牛がこっちを向きました。伊藤正義さんに、牛の糞や尿の利用について伺いました。糞は毎日トラックで深沢平の堆肥舎に持っていきます。堆肥舎にためたものは、土づくりセンターに運ばれます。尿は草地に戻しているそうです。



加美町には大小多くの畜舎があります。その糞尿から発生するメタンガスも地域エネルギーの一つです。利用できないものでしょうか。

## 広原地区 11月8日(木)11:00~15:00 雨

橋本さん、千葉さん、三浦さん、尾形さん、新妻先生、安田

広原地区の別所はずっと奥にあると聞いていたので、遠いところかと思っていましたが、車ではそんなに遠いところではなかったように感じました。調査の間はずっと大雨で、調査が終わった途端に晴れ上がりました。お昼時に、地域委員の千葉連悦さんから、椎茸栽培とほだ木の話をお伺いしました。

## 尾形さんの炭窯

別所の尾形照雄さんは昨年の震災が起こるまで炭焼きをされていましたが、震災で炭窯が崩れてしまいました。上質の炭を焼くには高度な窯づくりと炭焼きの技術が必要ですが、この地区では尾形さんを含め3名の方がこの技術をお持ちだそうです。地域のエネルギーや資源を活かす技を未来に受け継いでいきたいものです。尾形さんの窯は地形や地の利を活かしたものです。屋根も新しくきれいに葺いたときに震災に遭ってしまったそうです。



尾形さんの炭窯

## 水神のわき水

水神の尾形勝さんの家の裏山にはわき水があります。5軒がそこから水を引いています。勝さんのところでは、洗い物や庭の用水として使っているそうです。わき水は年中同じ温



尾形勝さんの家の裏山にあるわき水

度なので、冬は暖房に、夏は冷房に使える可能性があります。

## 小野田地区 11月12日(月)14:00~17:00

遠藤さん、三浦さん、青砥さん、村山さん(循環社会研究所)、新妻先生、安田

### 水屋のあと

鹿原の奥山光幸さんの家のかつて台所だった場所(今は家とは別の物置になっている)の水の取り入れ口を見せていただきました。家の後ろを水路が流れていました。水路をせき止めて台所に水が行くようにして、野菜や食器を洗ったりしていたそうです。味ヶ袋の加藤孝志さんの以前住んでいた家も水屋の仕組みがありました。家の台所部分に直接水路が入り込んでいました。どちらの家も、家のすぐ後ろを水路が走っていました。水は裏の山から引いているそうです。昔の人の地域の資源を利用した技と、その便利な仕組みを見ました。



水路が台所だったところに  
引き込まれている

### 薪ストーブ

地域委員の遠藤みどりさんをはじめ、小野田には薪ストーブを使う人たちがたくさんいます。遠藤さんのお店ではストーブに火が入っていました。鹿原の矢滝陽平さんのところでも、庭に割る前の薪が沢山積んでありました。地区で共同で使える薪割り機があればいいとのことでした。

荒沢自然館は紅葉がきれいでしたが休館日のため、外からストーブを見ました。敷地内には、炭窯がありました。やくらい土産・山の幸センターの食堂にはすてきな薪ストーブがありました。薪が手に入らないため、今は使われていないそうです。



食堂の薪ストーブ

### 大道川と用水路

大道川は長清水を流れる幅の広い水路です。水は八ヶ村堰から流れてきます。堰から流れてくる水は水量が豊富で小野田と宮崎の一部も潤しています。用水路の上流にあたるので水量も豊富です。

今回の地域調査では、突然お邪魔することが多々ありました。地域の皆様には、突然の訪問にもかかわらず、快くお話しして頂きありがとうございました。

(つづく)

問い合わせ先:

加美町役場 協働のまちづくり推進課(TEL 63-3215, FAX 63-2037)